



# 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2020年  
No.8  
事例1

調剤

## 薬剤取り違い



### 事例

#### 【事例の内容】

患者にレルベア100エリプタ30吸入用が処方された。調製者は、同じ引出しに入っていたテリルジー100エリプタ30吸入用を誤って調製し、箱から薬剤を取り出して鑑査に回した。鑑査時には取り違いに気付かなかったが、患者に薬剤を交付する際にアルミ包装を開封したところ、デバイスの色が違うことに付き、薬剤を取り違えたことがわかった。

#### 【背景・要因】

鑑査時、箱から取り出されたアルミ包装を確認したが、外観が似ていたため薬剤の取り違いに気付かなかった。

#### 【薬局から報告された改善策】

引出しに、注意喚起するためのラベルを付ける。



### その他の情報

販売名	レルベア100エリプタ30吸入用	テリルジー100エリプタ30吸入用
有効成分	ビランテロールトリフェニル酢酸塩 フルチカゾンフランカルボン酸エステル	ビランテロールトリフェニル酢酸塩 フルチカゾンフランカルボン酸エステル ウメクリジニウム臭化物
画像		

※グラクソ・スミスクライン株式会社ホームページより（参照2020年8月18日）



### 事例のポイント

- ドライパウダー定量吸入器には、エリプタ、タービューヘイラー、ディスクス、ディスクヘラーなど、様々な形状がある。
- エリプタは、現在、アニュイティ、アノーロ、エンクラッセ、テリルジー、レルベアの5製剤に使用されている。製剤ごとに色分けされているが、本体および包装の形状が同じであることから薬剤取り違いが発生する可能性がある。
- エリプタ以外にも、同じ吸入器の形状で複数の製剤が販売されているため、吸入剤を調製する際は、外観の類似に起因する薬剤取り違いに注意する必要がある。
- 外観が類似した薬剤の取り違いを防ぐためには、薬品棚に注意喚起を促すラベルを付けることや、薬剤名、有効成分、規格、製剤の画像を掲載した吸入剤リストを作成し薬局内で情報を共有することなどが有効な対策となる。



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



# 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2020年  
No.8  
事例2

疑義照会・処方医への情報提供

## 同成分の重複



### 事例

#### 【事例の内容】

今回よりアイベータ配合点眼液とドルモロール配合点眼液「センジュ」に処方に変更された。有効成分を確認すると、どちらにもチモロールマレイン酸塩が含まれているため疑義照会を行った。その結果、ドルモロール配合点眼液「センジュ」がプリンゾラミド懸濁性点眼液1%「ニットー」へ変更になった。

#### 【背景・要因】

患者には、今までアゾルガ配合懸濁性点眼液とアイファガン点眼液0.1%が処方されていたが、アゾルガ配合懸濁性点眼液から処方変更する際に、思い違いが発生したと思われる。

#### 【薬局から報告された改善策】

日頃から薬剤の勉強を怠らないようにする。



### その他の情報

前回の処方内容	今回の処方内容	疑義照会後の処方内容
アゾルガ配合懸濁性点眼液	ドルモロール配合点眼液	プリンゾラミド懸濁性点眼液1%
プリンゾラミド (炭酸脱水酵素阻害薬)	ドルゾラミド塩酸塩 (炭酸脱水酵素阻害薬)	プリンゾラミド (炭酸脱水酵素阻害薬)
チモロールマレイン酸塩 (β遮断薬)	チモロールマレイン酸塩 (β遮断薬)	
アイファガン点眼液0.1%	アイベータ配合点眼液	アイベータ配合点眼液
プリモニジン酒石酸塩 (α <sub>2</sub> 受容体作動薬)	プリモニジン酒石酸塩 (α <sub>2</sub> 受容体作動薬)	プリモニジン酒石酸塩 (α <sub>2</sub> 受容体作動薬)
	チモロールマレイン酸塩 (β遮断薬)	チモロールマレイン酸塩 (β遮断薬)

注) 薬剤名から屋号を除いて記載した。



### 事例のポイント

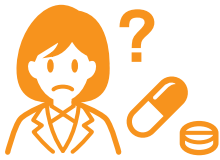
- 緑内障治療薬には、プロスタグランジン関連薬、β遮断薬、炭酸脱水酵素阻害薬、α<sub>2</sub>受容体作動薬、Rhoキナーゼ阻害薬、αβ遮断薬、α<sub>1</sub>遮断薬、副交感神経刺激薬、交感神経刺激薬などの点眼剤がある。
- 緑内障の薬物治療では、単剤での効果が不十分であるときには多剤併用療法を行い、併用処方時には、薬理的な作用点と同じ薬剤を選択してはならないとされている。  
参考：緑内障診療ガイドライン（第4版）日本緑内障学会緑内障診療ガイドライン作成委員会
- 配合点眼剤は、多剤併用療法を受ける患者のアドヒアランス向上が期待できることから、販売される薬剤が増えてきている。
- 緑内障治療点眼剤を調剤する際は、単剤、配合剤ともに有効成分を確認し、同成分あるいは薬理的な作用点と同じ成分が重複していないかを確認する必要がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



# 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2020年  
No.8  
事例3

疑義照会・処方医への情報提供

## 同効薬の重複



### 事例

#### 【事例の内容】

久しぶりに来局した患者に、整形外科からタリージェ錠5mgが初めて処方された。薬剤を交付する際、患者から、他院より処方されたリリカカプセルを継続服用していることを聞き取った。薬効が重複するため疑義照会を行った結果、タリージェ錠5mgが削除になった。

#### 【背景・要因】

整形外科を受診した際、患者は医師にお薬手帳を見せた。お薬手帳にはリリカカプセルの記載があったが、医師は、処方日と処方日数からリリカカプセルの服用が終了していると判断し、タリージェ錠5mgを処方した可能性がある。お薬手帳の情報が更新されていなかったことが要因と考えられる。

#### 【薬局から報告された改善策】

今回のケースのように、同じ薬剤を継続服用している患者の中には、お薬手帳を持ち歩かなかつたり、情報を更新していなかったりする場合が多く見受けられる。今後は今まで以上に、お薬手帳を活用することの重要性や情報を更新する必要性を患者が理解できるように説明していく。



### その他の情報

販売名	タリージェ錠2.5mg/5mg 10mg/15mg	リリカカプセル25mg/75mg/150mg リリカOD錠25mg/75mg/150mg
有効成分	ミロガバリンベシル酸塩	プレガバリン
効能・効果	末梢性神経障害性疼痛	神経障害性疼痛、線維筋痛症に伴う疼痛



### 事例のポイント

- 本事業には、処方医が、プレガバリン製剤とタリージェ錠が同効薬であることに気付かず両剤を併用して処方した事例や、患者が他の医療機関から処方されたプレガバリン製剤あるいはタリージェ錠を服用していることに気付かず処方した事例も報告されている。
- タリージェ錠やプレガバリン製剤が処方された際は、同効薬の服用の有無を確認することが望ましい。
- お薬手帳は、患者だけでなく医療従事者が患者の薬剤服用歴を把握するためにも重要なツールである。同じ薬剤が長期にわたり継続処方されている場合でも、毎回記録することの重要性を患者に伝える必要がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。